



▲図式や表を使って「気持ち」を数値化し、家族で実験することにより、具体的な分け方や「交換」の方法を考え、みんなが幸せになる方法を探究

■**応募のきっかけは？**
 私はお菓子が大好きなので、分ける時に一番大きいものを選んでしまいます。「ヘンゼルとグレーテル」はお菓子の家を食べる時、喧嘩をしていなかったため、仲良く分ける方法があるのか調べてみようと思いました。「算数・数学の自由研究」には昨年度も応募しています。地区審査から中央審査



清水 結香さん (8歳・荒張)

同志社小学校2年生。塩野直道記念 第9回「算数・数学の自由研究」作品コンクール(通称、MATHコン)に「ヘンゼルとグレーテルの法則～私にもできるSDGs～」の作品名で応募し、総応募数1万7429件の作品の中から、最優秀賞のうち文部科学大臣賞を史上最年少で受賞。

(注)…小中高校生が日常生活で感じた疑問や課題を、算数や数学の力を活用して探究する作品に応募するもの。

会の最終審査に推薦されましたが、賞をとることはできなかったのですが、今年度は最優秀賞に選ばれて、とても嬉しいです。



▲受賞作品

■自由研究で何を学びましたか？

お菓子を等分に分けることが難しかったので、分け方について書かれている本を図書館で借りて調べ、毎日遊んでいる折り紙と、得意なそろばんを使い、私なりに工夫してお菓子を等分にする方法を考えました。

お菓子を分ける方法を調べているうちに、戦争は領土の取り合いで起きてしまうことを知りました。もし、世界の国が仲良く領土を分けることができたなら、きっと戦争がなくなると思います。お菓

子を仲良く分ける方法を通じて、領土を仲良く分けるにはどうすればよいかなど、SDGs 16番目の「平和と公正をすべての人に」への考えも深めることができました。未来にすべての人が幸せになれるように、これからも「ヘンゼルとグレーテルの法則」をもっと研究して、私にもできるSDGsを考え続けていきたいです。

■今後の目標は？

乳酸菌についての知識を深めて、3年生の自由研究では、SDGs 3番目の「すべての人に健康と福祉を」につなげたいと思っています。

体の細胞に興味があるので、将来はがん細胞や抗生物質を調べる研究者や博士になりたいです。これからも、日常の「なぜ？」を大切に、たくさん研究し、世の中の役に立ちたいです。



▲文部科学大臣賞の盾と賞状を前に、笑顔の結香さん

有料広告 募集中

広報りつとうに 広告を出しませんか？

「広報りつとう」は市内約26000戸に毎月直接配布しています。お店や、教室などのPRにお役にください。

広告料(1号1枠) 本文30,000円
 お知らせ版20,000円(制作料を含みます)
 規格 縦55mm×横85mm、モノクロ
 ※詳細と空き状況は、市HPでご確認ください

問合せ…秘書広報課 TEL551-0641 FAX553-1280

SHIGA BANK 滋賀銀行デジタル通帳

スマートフォンアプリ
 「いつでも、どこでも、いつまでも」
 残高や入出金明細が見られる！

記帳 いろいろ！

広告欄



栗東市公式 SNS から最新情報を発信しています！



人口データ (2月1日現在)

- ・人口 70,384人(+3)
- ・男 35,009人
- ・女 35,375人
- ・世帯 29,099世帯(+3)
- ※() 前月比